

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りーふぷらす		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 10月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7 (1名記入に不備あり)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・安心して過ごすことのできる居場所としての役割。	・視覚支援の1つとして個別にスケジュールを用意し、お子様が見通しを持って自分の力で準備を進められるようにしている。 ・お子様の特性や相性に応じて部屋分け等を工夫して環境調整し、落ち着いて過ごすことができるようにしている。	・行動の手掛かりとなる視覚支援を充実させ、お子様が自発的に活動を切り替えたり、要求を伝えたりできるように工夫する。
2	・ABAに基づいたお子様との関わり。	・お子様がより多くの望ましい行動を取ることができるように、指導員はABA(応用行動分析)に基づいた対応を基本としている。 ・気になる行動について機能分析を行い、どのように対応することで増減するか検討し、実施している。	・研修等で定期的にABAについて学ぶ機会を設け、より深い理解をもって支援を実施できるようにする。
3	・保護者様へのサポート。	・LINEや連絡帳アプリを活用し写真を添付してご様子をお伝えしている。 ・療育に関する相談や進路等に関する相談に対して個別に相談の時間を設け、助言や情報提供を行っている。	・これまでに受けたことのある相談を例に挙げながら、どういった相談ができるのか保護者様に情報提供を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者交流会等の充実。	・希望者が少なく実施に至らなかった。 ・アンケートを実施して参加の意向や話のテーマなどをうかがっているが、ニーズの把握が十分でなかった。 ・平日は仕事をされている方が多く、日程が合わなかったのかかもしれない。	・興味を持っていただけるようなテーマを設定する。 ・開催にあたって候補日を複数設定する。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会。	・地域の学校に通われているお子様が多いため、改めて交流の場をもつことに対してニーズが低い。	・地域で開催されているイベントに参加する事で、地域の他のこどもや大人と交流の場を持つことが考えられる。
3	・事業所内で実施している地震や火災等の避難訓練に関する情報発信。	・各種マニュアルに従って訓練を実施しているが、その様子や具体的な内容について十分に共有できていない。 ・職員が主体となって指示を出し、避難方法の確認等を行っているため、お子様の印象に残りにくいのではないかと考えられる。	・訓練についてもインスタグラム等のSNSで活動内容を発信していく。 ・災害時の対応をクイズ形式で問う等で、楽しみながら意識を向けて考える機会を設ける。